

■今後の見直しに係る方向性（参考）

資料6

例示

		分野	目標
支え合う地域の推進	6. 障害のある人が、地域において多様な支援が受けられるよう、障害福祉サービスだけでなく市民やボランティア団体による支援を含めた包括的な支援のネットワークの整備を行います。	1	1
	1. 地域包括ケアシステムの構築と運営に当たっては、高齢の障害のある人や介護保険第2号被保険者の人も利用しやすいよう障害者福祉部門と高齢者福祉部門が連携します。	1	5
	高齡介護課とすり合わせ必要 2. ボランティアなど、地域における支え合いの担い手を養成します。また、障害のある人もボランティア等の活動ができるよう支援を行います。	1	5
	前段（統合）と、後段（地域活動？）に分化 1. 誰もが地域福祉の担い手となるよう、自治会、民生委員・児童委員、ボランティア団体などと、情報交換等を行う場を設けます。	5	2
	関連項目との整理要検討（統合） 2. 地域での見守り活動などの必要性について、引き続き啓発活動を行います。	5	4
	関連項目との整理要検討（統合） 4. さらめき出前講座や相談支援事業、ガイドブック等を通じて、障害のある人のSNSから起こるトラブルについて、当事者や家族、障害福祉サービス事業者、民生委員・児童委員等に周知を図ります。	6	1
	内容や表現の見直し（修正又は削除）		

・ 似通った項目が分野にまたいで存在する	→	統合
・ 一項目に別の施策が併記されている	→	分化
・ 向こう10年を見据えたときにふさわしい表現か担当課と調整する必要がある	→	修正
・ 計画へ位置づける妥当性について検討	→	削除
・ その他、必要に応じ新たな取組を協議	→	追加